

岩沼市文化財だより

文化財保護委員会
第12号
平成25年3月31日発行
1日 0923.22.1111
岩沼市板1丁目6番20号



昔の道具について学ぼう！



平成二十五年一月末から二月の初めに於て、岩沼・岩沼西・岩沼南各小学校の三年生が、昔の道具について学びました。

何十年も前の道具に、子どもたちは興味津々。当時の人々が実際に使っていたものに直接触れることで、昔の生活を想像したり、現代の豊さを改めて実感したようです。後日、児童の皆さんから「今がとても便利なのだということが分かりました。」「また小学校に来てください。」といった嬉しいお手紙がふるさと展示室に届きました。

教育委員会では、今後も民具やクイズなどを用いた文化財出前授業を行ってまいります。学校以外からのお問い合わせも受け付けておりますので、お気軽にご連絡下さい。

＜テーマ例＞

出前授業

- ・岩沼の歴史を知ろう！
(身近な文化財などについて)
- ・発掘でわかる岩沼の歴史
(市内の遺跡などについて)
- ・戦時中の岩沼
(戦時中の市内の様子など)
- ・郷土出身の偉人
など



平成二十四年度 文化財めぐり



榎下宿の様子



晴天に恵まれた十一月十日(土)、二十名を超す市民の方々と山形県山形市・上山市の文化財を見学しました。

市役所に集合後、午前中は上山市の上山城や榎下宿、午後は山形市内の最上義光歴史館などをめぐり、昼食会場となった榎下宿の「こんにやく番所」では、様々なアレンジされたこんにやく料理のフルコースである「こんにやく懐石」に舌鼓を打ちました。ガイド役をお願いした市文化財保護委員の阿部昭平先生による車内での解説にも、皆さん熱心に耳を傾けていました。車窓から見える紅葉に色付いた蔵王の山々がとても美しく、大変有意義な文化財めぐりだったという感想が数多く寄せられました。

今年も文化財保護普及の一環として文化財めぐりを開催する予定です。皆様の参加をお待ちしています。

毎年一月二十六日は 文化防火デー



向唐門への放水活動

毎年、一月二十六日は文化防火デーと定められています。

これは、昭和二十四年一月二十六日に、奈良県の法隆寺金堂で火災が発生し、飛鳥時代の芸術品として名高い室内の国宝壁画が焼失してしまったことから、貴重な文化財を火災から守るために制定された記念日です。

この日は全国各地で文化防火運動が行われ、岩沼市内でも、市指定有形文化財の向唐門を持つ竹駒神社で消防訓練が実施されました。

生涯学習課からお願い

埋蔵文化財包蔵地等で工事を
行う場合はご注意ください！

現在、市内には約六十六カ所の遺跡(埋蔵文化財包蔵地)が登録されています。市内で地面を掘削したり、建設工事を実施する場合、工事予定地が遺跡の範囲に含まれていないか、事前に生涯学習課・ふるさと展示室のいずれかで照会をお願いします。

また、工事などによって地下から遺物などが出土した場合、文化財保護法に基づき、速やかに生涯学習課かふるさと展示室までご連絡願います。

文化財だよりに関する

ご意見・感想をお寄せ下さい

連絡先

生涯学習課 023-1111
(内五七三)
ふるさと展示室 023-113011

メール

bunkazai@city.iwanuma.miyagi.jp



朝日遺跡（白い部分が火山灰）



下野郷遺跡



新簡下遺跡（隣接地）

市内の遺跡・発掘調査情報

平成二十四年度は、下野郷遺跡・新簡下遺跡・朝日遺跡などで発掘調査を実施しました。

集団移転予定地である新簡下遺跡の隣接地では、事業着手前に埋蔵文化財の有無を確認するための試掘調査を実施し、重要な遺構や遺物は発見されなかったものの、移転対象地が比較的安定した浜堤土壌で形成されていることを確認しました。

また、個人住宅の建設に伴う下野郷遺跡の調査では、江戸時代の屋敷などを区画する溝跡や、祭祀行為に用いられた可能性のある舟形の木製品などが出土し、朝日遺跡では陶磁器類のほか、平安時代に十和田火山から噴出したと思われる火山灰が検出されました。

なお、市教育委員会による遺跡分布調査の結果、市内で十ヶ所の遺跡が新規に登録されました。遺跡地内において開発行為等を行う場合、文化財保護法に基づき事前の発掘調査が必要になる場合がありますのでご注意ください。



新規登録遺跡地図



No	遺跡名	遺跡番号	所在地	時代
1	新簡下遺跡	15057	押分字新簡下	古代
2	沼前遺跡	15058	押分字沼前	古代
3	西土手遺跡	15059	押分字西土手	中世
4	前條遺跡	15060	下野郷字前條	古代
5	刈原遺跡	15061	早股字刈原	古代・中世
6	高原遺跡	15062	寺島字高原	中世
7	上中筋遺跡	15063	下野郷字上中筋	古代・中世
8	榎遺跡	15064	南長谷字榎	古代・中世
9	柳遺跡	15065	南長谷字柳	古代
10	台遺跡	15066	南長谷字台	縄文・弥生時代



ワークショップの様子

平成二十四年度は、津波により水損した古書籍を修復するため、紙修復の専門家である谷村博美氏を招いたワークショップをふるさと展示室で開催しました。

また、現在は水損資料の銷落とを中心に作業を進めています。被災資料数が膨大なため、平成二十五年度以降もこれらの作業を継続していく予定です。

市教育委員会では被災した文化財の散逸を防ぐため、今後も歴史資料を収集し、これらのクリーニング・修繕・保存に努め、貴重な遺産を後世へ引き継ぐ活動を行って参ります。

被災歴史資料の収集と保全活動について

貧乏徳利



養



常設展示の様子

平成二十四年度におけるふるさと展示室の活動報告

通算回数	タイトル	開催期間	来場者数
第4回	未来へつなぐ ～新しく仲間入りした収蔵資料～	4/3～7/29	2,528名
第5回	エコな暮らしの道具展	8/14～10/7	1,133名
第6回	石碑のある風景 ～その1 志賀・小川・長岡地区～	10/16～11/25	1,036名
第7回	救え！故郷の証 ～つなぐ！ MIYAGI ～	H25 12/4～1/13	599名

平成二十四年度はふるさと展示室において、民具や歴史資料に関わる企画展を四回開催しました。また、常設展示についても周期的な展示替えを実施しています。

劣化を防ぐという観点から、長期的な展示が不可能な資料もありますが、今後も皆様のご意見を取り入れ、多角的な展示を考案するよう努めてまいります。どうぞ足をお運びください。



第4回企画展（企画展示スペース）



第4回企画展（セミナールーム）

- 開館時間 午前10時～午後5時
- 休館日 毎週月曜日・年末年始
- 入場料 館内整理日（月に一日）
無料
- 所在地 岩沼市二木二丁目八の一
- アクセス JR岩沼駅より
徒歩約七分
iバス「中央一丁目」
バス停から徒歩
約五分
- 問い合わせ ふるさと展示室
☎二五・三三〇二